

平成 22 年度第 3 回理事会次第

日 時 平成 22 年 7 月 3 日 (土) 10:00

会 場 千葉県社会福祉センター4階会議室

1. 出席者及び資料の確認

2. 開会

3. 会長挨拶

4. 議 題

(1) 報告事項に対する質疑 (事前送付資料によりご確認ください)

(2) 議事(案)

1. 介護サービス情報公表の活用と仕組み改善のための
調査研究事業について

2. 委員会体制について

3. その他

(3) その他

5. 閉会

【三団体協議会】

日時：平成 22 年 6 月 13 日 13：00～

場所：千葉県社会福祉士会事務局

出席者：(PSW) 山口、渡辺、(MSW) 飯塚、吉成、(CSW) 岡本、神山、桜井、目黒

検討事項：

①ソーシャルワーカーデイのイベントについて

今年度は栃木県のイベントに参加する→7月17日(土)

各会 5 人以内を目安に、ワーキングチームメンバーを中心に声をかける。

来年度に千葉県での取り組みを行うことを目指して参考にする。

②ソーシャルアクションについて

行政への意見にとどまらず、県庁所管課との日常的な関わりを持つことを活動目標としてはどうか。

6 月 30 日に新執行部であいさつ回りをする予定→MSWからも同行することとする。

③三団体合同研修会について

今年度は 11 月 14 日(日)総武病院にて開催予定。昨年度に引き続きワーキングチームで企画する。

④その他

(MSW) 県内を 4 地区に分けた地区研究会を持っており、世話人も置いている。CSWの地域集会とはどのような活動か？

(CSW) 地域集会の相互乗り入れのような形で、地域での三団体連携を図りたい。

*次回協議会は 8 月 1 日(日)13：00～

【企画部会】

日時：平成 22 年 6 月 28 日(月) 19：00～

場所：ヒューマンレインボー事務所

出席者：岡本、桜井、目黒、森池

検討事項：

①三団体協議会報告と検討事項について

ソーシャルワーカーデイの栃木県視察について、各会の参加希望を確認し、当日の行程を練る。

②地域集会世話人会

8 月 1 日(日)10：00～ 中央コミュニティセンターにて開催予定。世話人MLで周知する。

③今年度の活動について

昨年度に引き続き、三団体連携・地域集会の活性化を中心に取り組む。また、公益法人に関するプロジェクトチームを立ち上げることがあらたに課題となるが、次回部会にて検討する。

広報部会 活動報告

○ 『点と線』第 73 号の発行について

- ・ 掲載内容に若干の変更がありました。
 - －千葉県社会福祉士会 新旧会長あいさつ
 - －平成 22 年度理事紹介及び抱負
 - －研究大会報告
 - －千葉県ソーシャルワーク協会三団体協議会報告
 - －コラム『新しい「公益法人制度」って何だろう』
 - －コラム『「生活」と「医療」の融合』
 - －社会福祉士の輪
 - －新規事業アイデア募集事業の進捗状況について
 - －『福祉川柳』、『ほっこりエピソード』の募集について
 - －事務局だより

- ・ レイアウトについて
今号から、これまで横書きだった原稿を、縦書き四段に変更しています。
見た目の印象を向上させることと、情報量が多く掲載できることから変更いたしました。

- ・ 編集・入稿・発送作業について
原稿提出の遅れから、編集・校正・入稿の時期が遅くなりました。印刷会社への入稿予定が7月17日に変更されるため、発送作業については7月30日以降となります。
また、発送作業を行う地域についても決定しておりません。企画部会の「地域集会世話人会メンバーリスト」を利用し、各地域集会世話人に働きかけることとします。

相談事業部会報告事項

① 福祉のしごと就職フェア

7/17 幕張メッセにて 2 名の相談員を派遣予定。(中田さん、西沢さん)

② 習志野市「福祉ふれあいまつり」 10 月 23 日 参加予定

地域包括支援センター部会報告事項

報告事項

- ① 高齢者虐待対応専門職チーム
現時点での依頼件数はなし。
- ② 高齢者虐待対応アドバイザーコースについて
本部に 5 名を推薦した 5 名が全員受講できた。(前期 6 月 26～28 日)
- ③ 高齢者虐待対応専門職チーム研修と地域包括社会福祉士交流会について
チームのメンバーの研修と、必要とされるチームのヒヤリングのための包括社会福祉士交流会を行うこととした。

地域包括支援センター等社会福祉士交流会企画書 (案)

- 1 目的
 - ① 県内の地域包括支援センター等で相談支援業務にあたっている社会福祉士が、業務上の課題やソーシャルワーカーとしてのあるべき姿などを、考え、語り、共有することを通じて、「支え、高めあう相互のネットワーク」を構築するきっかけづくりをすることを目的とする。
 - ② 虐待対応専門職チームが地域包括支援センターの実状を知る機会とし、チームの活動に反映することを目的とする。
- 2 日時 平成 22 年 8 月 7 日 (土)
13:30～16:30
- 3 場所 I-Link (市川) または 聖徳大学
- 4 主催 千葉県社会福祉士会 地域包括支援センター部会
- 5 対象 地域包括支援センター・在宅介護支援センター・中核地域支援センターに勤務する社会福祉士および地域包括支援センターの業務に関心のある社会福祉士
- 6 内容
交流会テーマ 「ホンネで語ろう！地域包括支援センターのお仕事～権利擁護業務から～」
 - ①指定発言
 - ②グループ討議 指定発言を受けて自由討議
 - ③まとめ
- 7 参加費 500円 (お茶・資料代)

8 懇親会

千葉県高齢者虐待対応専門職チーム社会福祉士研修会

- 1 目的
 - ① チーム構成員が高齢者虐待対応ソーシャルワークモデルの理解を深める。
 - ② 千葉県高齢者虐待対応現任者研修の内容を確認し、共有する。

- 2 日時 平成 22 年 8 月 8 日 (日)
10 : 00 ~ 16 : 00

- 3 場所 市川
松戸

- 4 対象 千葉県高齢者虐待対応専門職チーム構成員 (社会福祉士)

- 5 内容
 - 4 月 ~ 8 月までの状況報告 10 分 (宮間)
 - ソーシャルワークモデルの復習と千葉県内包括と行政への導入について考える
県受託現任研修に添って担当者からの説明
 - ・ ソーシャルワークモデルとしてのポイント
 - ・ 千葉県内包括の実状を踏まえて
 - ・ 研修にあたっての課題や疑問

 - ① 虐待対応と権利擁護 30 分 (宮間)
 - ② 帳票 20 分 (宮間)
 - ③ 初動体制 50 分 (沼里・松丸)
 - 昼休み
 - ④ 支援計画 50 分 (平野)
 - ⑤ 評価と終結 40 分 (宮間)
 - ⑥ 総合演習 60 分 (須田)
 - 今後のスケジュール

- 6 参加費 500 円 (お茶代・資料代) + 昼食代

会場は市川市内、松戸市内で検討中。

地域包括支援センター 社会福祉士 交流会

～ホンネで語ろう!～

千葉県社会福祉士会 地域包括部会 企画

地域包括支援センター等で相談支援業務にあたっている社会福祉士&地域包括支援センターの業務に関心のある社会福祉士を対象に交流会を企画しました。権利擁護等業務の課題やソーシャルワーカーとしてあるべき姿などを一緒に考え、語り、共有することを通じて「支え、高めあうネットワーク」をつくりましょう!!
なお交流会の後懇親会を企画しています。合わせてご参加ください。

記

- 日時** 平成 22 年 8 月 7 日 (土) 13:30~16:30
- 場所** 市川・松戸付近 ※決定後、ご連絡します
- 参加費** 交流会 500 円 (お茶、資料代) 懇親会 4,000 円程度を予定
- 内容** 県内地域包括支援センターの現状報告、意見交換
- 申込み** 下記、必要事項を記入し千葉県社会福祉士会へ Fax もしくは同じ内容を Eメール送信してください。申込期限は、7月30日(金)です。

氏名：	所属：
住所：	Tel： E-mail：
区分： 会員 (番号) ・ 非会員	
懇親会： 参加 ・ 不参加 (直前キャンセルの場合キャンセル料をいただきます)	
語りたいこと、仲間に聞きたいこと等	

(問い合わせ先) 社団法人千葉県社会福祉士会事務局

電話：043-238-2866 Fax：043-238-2867 E-Mail：office@cschwchiba.com

[研修委員会]

研修啓発部会

【報告事項】

1、東京成徳大学 キャリアアップ特別講座日程（別紙資料）

2、ジェイシー教育研究所

→6/15 第一回 Web 模試問題締切。現在校正中

日程（★印は、社会福祉士・精神保健福祉士共通科目）

	日時	教室		科目名	講師
1	9月25日（土）1時限	103	★	心理学理論と心理的支援	大野 地平
2	9月25日（土）2時限	103	★	地域福祉の理論と方法	大野 地平
3	9月30日（木）1時限	102		福祉サービスの組織と経営	大澤 直樹
4	10月2日（土）1時限	103		相談援助の基盤と専門職 相談援助の理論と方法Ⅰ	南 牧生
5	10月2日（土）2時限	103		相談援助の理論と方法Ⅱ	南 牧生
6	10月7日（木）1時限	102	★	福祉行財政と福祉計画	大澤 直樹
7	10月14日（木）1時限	102		更生保護制度	神田 一彦
8	10月21日（木）1時限	102		高齢者に対する支援と介護保険制度	浅見 雅人
9	10月28日（木）1時限	102		児童・家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	神田 一彦
10	11月4日（木）1時限	102	★	現代社会と福祉	君和田 豊
11	11月11日（木）1時限	102	★	社会保障	君和田 豊
12	11月18日（木）1時限	102	★	社会理論と社会システム	君和田 豊
13	11月25日（木）1時限	102	★	保健医療サービス	染野 貴寛
14	12月2日（木）1時限	102	★	人体の構造と機能及び疾病	染野 貴寛
15	12月9日（木）1時限	102	★	低所得者に対する支援と生活保護制度	池田 雅弘
16	12月16日（木）1時限	102	★	権利擁護と成年後見制度	神田 一彦
17	12月25日（土）1時限	103		障害者に対する支援と障害者自立支援制度	相澤 雅則
18	12月25日（土）2時限	103		就労支援サービス	相澤 雅則
19	1月6日（木）1時限	102		社会調査の基礎	君和田 豊

[研修委員会]

ケアマネジメント部会

【報告事項】

- 1、介護支援専門員受験対策講座 (別紙資料)

各分野のプロによる よくわかる！！

千葉県社会福祉士会

介護支援専門員受験対策講座 のご案内

主催：(社)千葉県社会福祉士会・ケアマネジメント部会

◆Aコース(講義と模擬試験のセット)・・・受講料20,000円

日時	会場	内容等	講師(予定)	定員
8/22(日) 8:25~17:00 (受付8:00)	千葉県社会福祉センター4階会議室	介護支援分野	介護支援専門員・社会福祉士 林 房吉 氏	70名
8/28(土) 9:00~17:00 (受付8:30)	千葉県社会福祉センター4階会議室	福祉サービスの知識等	介護支援専門員・社会福祉士 山口 定之 氏	
9/11(土) 9:00~17:00 (受付8:30)	千葉県社会福祉センター5階大研修室	保健・医療サービスの知識	介護支援専門員・保健師 後藤 佳苗 氏	
9/18(土) 9:00~12:30 (受付8:30)	千葉県社会福祉センター4階会議室	介護支援分野	介護支援専門員・社会福祉士 矢野 明宏 氏	
13:15~16:45		模擬試験と解説		

◆Bコース(模擬試験のみ)・・・受講料6,000円

9/18(土) 13:15~16:45 (受付12:45)	千葉県社会福祉センター4階会議室	模擬試験と解説	介護支援専門員・社会福祉士 矢野 明宏 氏	30名
-------------------------------------	------------------	---------	--------------------------	-----

◆Cコース・・・受講料5,000円

10/2(土) 9:30~16:00 (受付9:00)	千葉県労働者福祉センター302・303会議室	受験直前対策 (各種制度論等)	介護支援専門員・社会福祉士 水野谷 繁 氏	100名
-----------------------------------	------------------------	--------------------	--------------------------	------

【 会 場 】 ◆8月22日、28日、9月11日、18日 千葉県社会福祉センター内会議室

◆10月2日 千葉県労働者福祉センター内会議室

※ お間違えのないよう、ご注意ください！！

【 申込方法 】

◆下記の申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX、郵送またはメールで事務局までお申してください。
(FAX、郵送で申し込まれた場合は、必ず届いているか確認のお電話をお願いいたします。
メールで申し込まれた場合は、事務局より返信メールをいたします。)

【お支払い方法】

◆お電話またはメールで受付確認ができましたら、郵便局にそなえつけの払込票により受講料を下記の口座へお振込みください。恐れ入りますが振込手数料は各自でご負担ください。
◆入金の確認がされ次第、受講票を送付いたします。

振込先	ゆうちょ銀行
口座番号	00170-0-713799
加入者名	社団法人 千葉県社会福祉士会
通信欄	介護支援専門員対策講座〇コース (とお書き添えください。)

【 締め切り 】 ◆A・Bコース ⇒ 平成22年8月10日
◆Cコース ⇒ 平成22年9月25日

※ 定員になり次第締め切ります。但し、締切を過ぎても定員に満たない場合は受付をいたしますのでホームページ(<http://www.cswchiba.com/>)をご確認いただくか、事務局へお問い合わせください。

【 注意事項 】

◆本講座は、「五訂介護支援専門員基本テキスト全4巻(長寿社会開発センター平21年6月発行)」を用いて行います。講師はこのテキストに基づき、講義をすすめますので必ずご持参ください。
(受講生の皆様各自でご準備ください。当会でのテキスト販売はおこないません。)
◆Aコースは4日間一セットです。欠席された場合も一日ごとの返金はありません。
◆昼食をご持参いただくか、または当日、業者に注文できます。ゴミはお持ち帰りとなります。
◆会場・講師については都合により変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。

【 キャンセルについて 】

◆A・Bコースは8月10日まで、Cコースは9月25日までにキャンセルのご連絡をいただいた場合はご返金いたします。(お振込みにて返金いたします。振込み手数料は差し引かせていただきますのでご了承下さい。)
◆FAXまたはメールにて、氏名・ご連絡先・申込みコース・返金先の銀行口座を記載の上、事務局へ送信ください。

【 申込先 】 社団法人 千葉県社会福祉士会 事務局
〒260-0026 千葉市中央区千葉港4-3千葉県社会福祉センター4階
TEL:043-238-2866 FAX:043-238-2867 E-mail:office@cswchiba.com

(社)千葉県社会福祉士会 介護支援専門員受験対策講座 申込用紙

氏名	
住所	〒
電話(連絡のつきやすいもの)	
希望のコース	Aコース ・ Bコース ・ Cコース
受験基礎資格	社会福祉士 ・ 介護福祉士 ・ 看護師 その他 ()

A 「ぱあとなあ千葉第3回運営委員会 報告」

1. 実施日時：平成22年6月9日（水）17：00～19：00
2. 場 所：社会福祉センター(4階会議室)
3. 出席者：櫻井、石山、田中、出口、福島、片野、辻村、吉田、鈴木、市川（途中退席）（欠席：朽名、篠田、中山）（記録担当：片野）
4. 議事：鈴木委員長より、まず担当ごとに引き継ぎ・打ち合わせを行い、その後全体会議を行いたい旨の発言あり、担当ごとに分かれて打ち合わせを行った。

鈴木委員長より、新体制について、櫻井理事の副委員長就任について了承を求めたい旨の提案があり、全員これを了承。（よって副委員長職は吉田理事と櫻井理事の2名体制となる。）

5. 鈴木委員長より、各担当ごとに概要報告；

- ① 研修は石山委員、出口委員で引き継ぎ説明終了。
- ② 法人後見については、色々問題あり、とりあえず篠田委員のみの担当となる。
- ③ 広報については、福島委員が井上前委員から引き継がれたと了解。
（福島委員より、委員長からの原稿をお願いしたい、原案を6月中にいただきたい旨の依頼あり。）
- ④ 虐待対応については、本日朽名委員欠席。
- ⑤ コーディネートについては、鈴木、吉田、片野、田中で打ち合わせを行った。推薦方法について書類を作成して行っていきたい。受任候補者からのアンケートについても、情報はまとまっているが、もう少し細かな情報リストを作成して管理していきたい。コーディネートは原則月に2回とするが、家裁から推薦依頼がたまれば随時行っていく。
- ⑥ 会計については、辻村委員が市川前委員から引き継ぎ打ち合わせを行った。実行予算を作り予算・実績の管理を行っていく。また、2月、8月の本部への定期報告費用の発生時期と予算時期の年度跨りに注意する。
（会計については辻村委員が主担当、櫻井副委員長が副担当とする。）
- ⑦ 電話相談について、2つの問題がある。相談に出ている人の質の問題、依頼人からの質問に適切に答えていない場合がある。この対策として、2月に電話相談員研修を行った。次に、相談が少ないことにより、相談員が手持ち無沙汰であること。何らかの対策が必要。

以上、担当ごとの打ち合わせ・説明終了。

6. 以下、各担当からの発言、提案の概要；

- ① 吉田副委員長：登録員研修を6月20日13:30-17:00に行う。当日委員は全員12時集合のこと。

13:30-14:00 委員長挨拶および運営方針の説明

14:00-16:00 事例提供 ①死後の事務に関わって
②不動産の処分について

16:00-17:00 意見交換

支部委託研修について、前回名簿出したが、25名の受講者に通知出した結果、現在2名から辞退の回答あり、受講予定者数は現在23名。1名の方が受講要件を満たしていなかった。

- ② 櫻井副委員長より、「渉外（企画・財務）」担当部署の創設について、別紙のとおり提案あり、その内容について説明あり。（内容別紙のとおり）

これに関し、出席委員より渉外活動は、理事職にある委員3名の方にやっていただいてはどうかとの意見が出た。上記3名で行うが、関連した研修については研修担当とも連携して行うこととし、本リーダーは櫻井副委員長とする。また、具体案を更に詰めることとした。

鈴木委員長：研修が年に2回で少ない。研修担当で検討していただきたい、たとえば、月に1回、任意でやることなど。

- ③ 吉田副委員長より、不祥事対応面接の実施内容について、本部への報告内容を説明。
④ 田中委員より、コーディネート方法について、受任候補者のリスト作成、およびその内容の更新作業について、説明あり。
⑤ 片野委員より、コーディネート・マニュアルの原案について説明。

7. その他 次回運営委員会開催予定日—8月4日(水)18:00-20:00

B「第1回登録員・準登録員研修実施報告」

1. 実施日:平成22年6月20日
2. 時間:13時30分~17時
3. 会場:社会福祉センター4階会議室
4. 参加費:1,000円

《目的》

- ・事例を通して、後見人の職務である「身上監護」及び「財産管理」について学ぶ。
- ・自分の時はどうだったかと振り返り、また、自分ならどうするかを考え、今後の後見活動に実践的に役立てる機会とする。

《日程》

- 13:15～13:30 受付
- 13:30～14:00 ぱあとなあ千葉からの報告
- ・運営委員長あいさつ 鈴木 運営委員長
 - ・ぱあとなあ新運営委員の紹介
 - ・ぱあとなあ千葉からの連絡
 - ・関連情報の提供
 - ・後見受任者面接を実施しての感想 吉田 副運営委員長
- 14:00～16:00 事例発表
- ①「死後の事務に関わって」 今川 純子
 - ②「不動産の処分について」 桜井 勉 運営委員
- 16:00～17:00 意見交換

参加者44名（登録員 32名・準登録員 12名）

一問一答集売り上げ 13冊

独立型社会福祉士委員会 活動記録（第1回）

開催日/時間	平成22年6月19日/10時～12時	場所	千葉県社会福祉センター 2F会議室
参加者	川島隆太、川崎保則、櫻井勉、吉田愛子、薄井哲子、坂本孝、野田滋、辻村雄司、遠坂貴志		
議題/内容	1.近況・理事会より、基礎研修部会紹介用紙 ・6/1より、独立型社会福祉士委員会発足。5/29研究発表大会にて、川島より「独立型社会福祉士を目指して、そして」を発表。神山会長より、当委員会へのメッセージ紹介。		
	2.メール連絡体制について(メーリングリストの利用) ・委員会用のメーリングリスト活用について伝達。		
	3.千葉県社会福祉士会ホームページ内での掲載について ・当委員会のホームページ掲載を、会へ依頼へ。興味を持ってもらえるような内容を目指す。		
	4.事務所・事業所名簿・広報について(意見・要望・方法 どのように募るのか) ・川島より名簿の検討案を挙げる。まだ、各自からメール等で情報提供を求めている段階だが、公表部分は各自の希望に沿って行いたい。		
	5.成年後見関係について(受任者へのリスクマネジメントについて→メンバーで急に×になった際の協力体制についての提案) 具体的な取り決めは行うことはできないが、後見受任については、皆で協力して対応していく方向性で一致。また、一時期間や一定期間、後見業務が行うことができない場合の、後見代理についても、話題が上がり、検討課題として挙げた。		
	6.委員会活動の方向性について(社会貢献部会での活動、成年後見関係の研修・検討・会議については、別の機会のほうがよいか?、今後の予定について・レポートや小冊子化に向けて、議題・議案・意見の取りまとめ等について) 川島より社会貢献活動部会の報告を行う。両部会ともに、現在の活動を行いながら、各自の興味等に沿いながら活動を続けて行くことを目指す。ネットワーク拡大を目指し、交流会の開催を検討したい。独立養成活動について、独立に関する相談会や研修会を企画したいが、本部にも許可を頂く必要があると思われる。成年後見を中心とした活動を行っている委員が多いが、今後は成年後見に限らず、成年後見以外の分野でも、独立して活動している方たちと経営面や活動内容を重視しながら、継続していきたい。		
	7.その他 前回総会で決定している、負担金制度について、「払うこと自体に反対なのではないが、具体的に、現在、財政面等で会がどのような状況で、なぜ、負担金が必要なのが分からない(総会に参加できない会員や理事会等を知らない会員は全く分からないのでは)」と言った意見が挙がっていた。この制度を進めていくためには、一般会員を含め公募し、有志を集め、「予算検討会」や「負担金検討会」と言ったグループを集め、より、一般会員に理解を求められるような制度にする必要があるのではという意見が挙げた。		
意見・その他	◎理事会への意見・提案		
	1 ホームページの設定について		
	2 名簿作成・公表や交流会開催、独立養成研修・相談会について、予算について(参加者の交通費等の経費を支給について)		
	3 準会員の参加について(より、会の活動への参加を促してもよいのではないか)		
	3 負担金等に関する検討会設置について		

【事務局報告】

○ 後援

- ・ 社会福祉法人 大成会 第 10 回自閉症基礎講座 6 月 26 日
- ・ 千葉県社協 福祉のしごと就職フェア in ちば 7 月 17 日
- ・ 特定非営利法人 日本地域福祉研究所 第 16 回地域福祉実践研究全国セミナー 8 月 26 日～28 日
- ・ 千葉県健康福祉部 千葉県がん患者大集合 2010 9 月 5 日
- ・ 千葉県言語聴覚士会 設立 10 周年記念大会 11 月 7 日

○ 来賓依頼

- ・ 千葉県在宅サービス事業者協議会 22 年度通常総会及び懇親会 7 月 20 日 未定
- ・ 千葉県言語聴覚士会 設立 10 周年記念大会 11 月 7 日 未定

○ 委員推薦

- ・ 千葉県健康福祉部 千葉県地域リハビリテーション協議会委員 石山 明子
- ・ 千葉県社協 千葉県運営適正化委員会委員 目黒副会長、宮間 恵美子
- ・ 千葉市保健福祉局 千葉市社会福祉審議会委員 神山会長

○ その他

- ・ 千葉県福祉サービス評価・調査機関連絡会 継続
- ・ 千葉市保健福祉局 千葉市社会福祉審議会 7 月 2 日 神山会長
- ・ 千葉県社協 福祉のしごと就職フェア in ちば相談コーナー 7 月 17 日 西沢 将行、中田 奈津代
- ・ 千葉県健康福祉部 第 39 回医療功労賞候補者推薦 未定
- ・ 千葉県健康福祉部 「介護の日」事例発表者推薦 未定
- ・ 習志野社協 習志野市福祉ふれあいまつり 10 月 23 日 未定

○ 寄付

- ・ 匿名希望の方から、会へ 5 万 5 千円の寄付をいただきました。

**** 会員情報 ****

6 月 30 日現在 正会員:1,159 名 (新入会:41 名、転入:2 名、転出:3 名、退会:0 名、)

➤ 6 月本部会員情報より

報告（その他）政府関連公益法人仕分けに関する意見応募の結果について

平成 21 年度第 8 回理事会において提案可決し、千葉県社会福祉士会長名で応募した下記案件について、事業仕分けにはかかりませんでした。別紙のとおり改善が見られましたので報告します。

提案事項名：財団法人社会福祉振興・試験センターに関する業務見直しについて

提案の分類：行政による権限付与の見直し

政府関連公益法人の名称：財団法人社会福祉振興・試験センター

対象となる事務・事業名：同法人の所管する全ての事業

提案の具体的内容：

同法人の所掌している 1. 調査・研究事業、2. 研修事業、3. 出版事業、4. 保険事業、5. 債務保証事業、6. 試験・登録事業および 7. その他（介護支援専門員実務研修受講試験の試験問題作成事務）の内、2 から 4 の事業は社会福祉法人全国社会福祉協議会（以下「全社協」）に、1 と 5 は独立行政法人福祉医療機構もしくは全社協に、6 については社団法人日本社会福祉士会、社団法人日本介護福祉士会および社団法人日本精神保健福祉士協会に委ねるか厚生労働省が直接所掌する事が適当である。7 については本来都道府県の業務である。

（全角 248 文字・最大 250 文字）

提案理由：

上記事業中 1. から 5. については同法人固有の業務となっておりますが、前項に挙げた他の法人が同様の事業を行っており実施主体を集約する事で見直しの視点（1）5 に挙げるとおり効率的・効果的にサービス提供できるものと考えます。

6. について現在は同法人が社会福祉士及び介護福祉士法第 10 条および同法第 35 条の規定する指定試験・登録機関となっておりますが、他機関でも可能な業務であり同法人を指定する明確な理由は存在しません。

社団法人日本社会福祉士会、社団法人日本介護福祉士会および社団法人日本精神保健福祉士協会（以下「職能団体」）はそれぞれ会員向けの研修を行い有資格者の資質向上に努めております。同時に独自の倫理綱領を定め会員はそれを遵守する事を誓約して入会し、違反した場合には各団体が独自に調査の上処分を決定します。職能団体が試験・登録業務を行う事により組織率の向上が見込まれ、職能団体の組織率を向上する事が国民全体の福祉向上につながると考えます。諸外国の例を見ても、職能団体が有資格者の登録・管理を行っている例は多くあります。

また、同法人の公開している資料によると平成 20 年度収入に占める国補助金の割合は 0.9% に過ぎませんが、正味財産増減計算総括表を見ると 6. に係る試験・登録勘定だけを抽出しても年間 4,500 万円を超える経常益となっております。これは同法人の目的に照らし過大な資産形成と言えます。

なお、国家試験の作問業務については現在も外部の試験委員に依頼しており、職能団体で試験業務を行うとしても同委員制度を残す事により公平性を欠くことはありません。同委員制度を残しても公平性に不安があると考えるのであれば、試験業務は厚生労働省が直接行い、登録業務を職能団体に委ねる事が適当であると考えます。

(全角 743 文字・最大 750 文字)

提案の具体的内容・提案理由の公表可否：可

性別：男

年代：40 歳代

職業：その他

居住都道府県：千葉県

提案者氏名：社団法人千葉県社会福祉士会会長山崎泰介

電話番号：043-238-2866

電子メールアドレス：(事務局アドレス)

結果：厚生労働省報道発表

「(財) 社会福祉振興・試験センターの保有する積立金の縮減等について」

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r98520000007e58.html> (別紙参照)



平成22年6月29日
社会・援護局福祉基盤課
福祉人材確保対策室長 泉 潤一(2846)
資格・試験係長 高橋 勲(2845)
(代表電話) 03(5253)1111

(財)社会福祉振興・試験センターの保有する 積立金の縮減等について

本日、長妻厚生労働大臣の指示により、財団法人社会福祉振興・試験センター(以下「試験センター」という。)に対し、以下のとおり指示・要請を行いましたので、お知らせします。

○試験センターの保有する3種類の積立金(平成21年度末に39.5億円)について、以下のとおり縮減すること。

(別紙参照)

試験事業安定積立金(28.0億円)

… 受験手数料の引下げ等により、原則として平成23年度からの3年間で全額を解消する。

登録事業安定積立資産(6.4億円)

… 登録者現況調査等に必要な経費は残し、登録手数料を引き下げ、資産規模を半減(3.2億円)する。

公益事業拡充資金等資産(5.1億円)

… 平成22年度からの3年間で、全額を福祉介護従事者の資質向上事業に還元する。

○厚生労働省出身の役員ポストについては、年内に公募により後任者を決定するとともに、常勤役員数の削減、役員報酬の引き下げ、家賃のより低廉な事務所への移転等についても検討すること。

(参考) 試験センターは、「社会福祉士及び介護福祉士法」及び「精神保健福祉士法」による指定試験機関・指定登録機関としての指定を受け、社会福祉士、介護福祉士及び精神保健福祉士の国家試験の実施等の業務を行っている。

積立金の縮減方針

(財)社会福祉振興・試験センター

平成21年度決算ベース39.5億円の積立金を原則3年間で以下のように縮減

積立金の区分	額	縮減の方針	縮減後の額
試験事業安定積立金	億円	積立額を解消する。	0
社会福祉士	11.9	① 22年度から受験地を拡大 島根県松江市、北海道釧路市	
介護福祉士	15.2	② 23年度からの3年間の受験手数料を 引下げ。※26年度以降は単年度収支均 衡のため引上げ。なお、社会福祉士は積 立額との関係で5年間	
精神保健福祉士	0.9		
小計	28.0		
登録事業安定積立資産	6.4	登録手数料の引き下げ等により、積立金 を半減させる。	3.2
公益事業拡充資金等資産	5.1	積立金を解消する。 22年度から3年間で、福祉介護従事者 の資質向上事業に還元	0
積立金 合計	39.5		3.2

※本人の平成21年度末内部留保額は5.6億円であり、内部留保率は11.3%である。

受験手数料の推移

単位：円

社会福祉士		取崩期間	20年度	21年度	今回の見直し	23年度	28年度
		5年間	11,100	9,600	↑	5,580 (-4,020)	10,340 (+4,760)

単位：円

介護福祉士		取崩期間	20年度	21年度	今回の見直し	23年度	26年度
		3年間	12,800	12,500	↑	10,650 (-1,850)	13,420 (+2,770)

単位：円

精神保健福祉士		取崩期間	20年度	21年度	今回の見直し	23年度	26年度
		3年間	11,500	11,500	↑	9,750 (-1,750)	13,140 (+3,390)

登録手数料の推移

単位：円

介護福祉士		取崩期間	20年度	21年度	今回の見直し	23年度	26年度
		2年間	4,050	4,050	↑	3,320 (-730)	4,990 (+1,670)

※上記の推計は、現時点での将来の見込みである。

平成 22 年度 理事会議案 2 追加資料

社団法人千葉県社会福祉士会倫理委員会準備会について

平成 21 年度第 2 回総会において承認された表記の件について、以下の体制で設置準備にかかることについて、理事会の承認を求めます。

記

座長：山崎泰介相談役（社団法人日本社会福祉士会綱紀委員長）

以下、委員として本会会員を 4 名選任。

委員の選任は三役に一任いただき、決定後理事会に報告。

以上

社団法人千葉県社会福祉士会(組織図) (規程11号 組織規程 別紙)

